

建造物の調査と研究

南都を中心とする古代建築の調査研究 従来から継続している本研究は、とくに現在は、これまでに蓄積された調査研究と保存修理工事の成果をもとに、古代建築の設計計画や工法からみた軸組・架構・小屋組の構造、各部位の計画寸法、各部材の長さど大きさ、樹種、納まりなどの研究をすすめている（P.20-21参照）。また、東大寺転害門の実測をおこない、技法、復原考察、修理手法などの研究をおこなった（P.24-25参照）。

遺跡の建造物復原方法の研究 都道府県の協力を得て収集した史跡の建造物復原事業の実態アンケートから、事業のあり方、復原のあり方などについて問題点と課題を整理分析した。それらの成果をもとに、各地の自治体の担当者を交え、今後のあり方を討論した（P.62参照）。

平城宮建造物復原実施にともなう調査研究 大極殿の復原実施設計準備に関する監修において、古代建築の技法および復原実施上の諸問題などの検討をおこなった（P.69-70参照）。朱雀門・東院西建物の復原施工の監修では、材料の選択、原寸図作成並びに木材加工、瓦の原型作製などの機会に細部の検討をおこなった（P.68参照）。

滋賀県近世民家調査 3か年継続事業の最終年度となり補足調査をおこない報告書を作成した（P.28-29参照）。

鳥取県近代化遺産総合調査 2か年継続事業の最終年度にあたり、第二次調査と補足調査をおこない、報告書を作成した（P.65参照）。

建造物保存修復の理念及び方法に関する日独共同研究 ドイツの二か所（ザクセン州マイセン市・ヘッセン州リンブルク市）で都市の保存地区について、歴史的な建造物の保存、修復、活用などの状況を調査した（P.50参照）。ドイツからも研究者を招聘し、樞原市今井町その他の調査に協力した。

各地の史跡の整備事業（建物復原）への助言・指導 新居関（新居町）、崇廣堂（伊賀上野市）、近江国庁（滋賀県）、津山城（津山市）などの遺跡整備における建物

復原に関する助言・指導を現地においておこなった。

各地の文化財建造物の修復事業への助言・指導 光福寺
(静岡県)、大阪中之島公会堂(大阪市)、山口県旧県会
議事堂(山口県)、釣島灯台退息所(松山市)、西田橋
(鹿児島県)などの保存修復にあたり、現地において助
言・指導した。 (木村 勉)